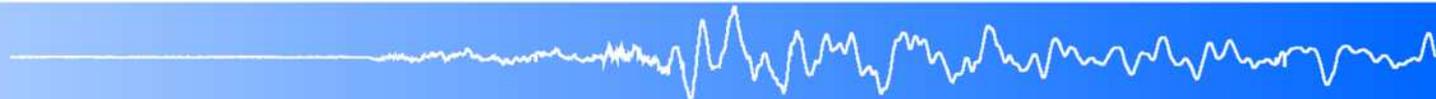


緊急地震速報の発表状況等について



緊急地震速報の発表状況（平成27年1月以降）

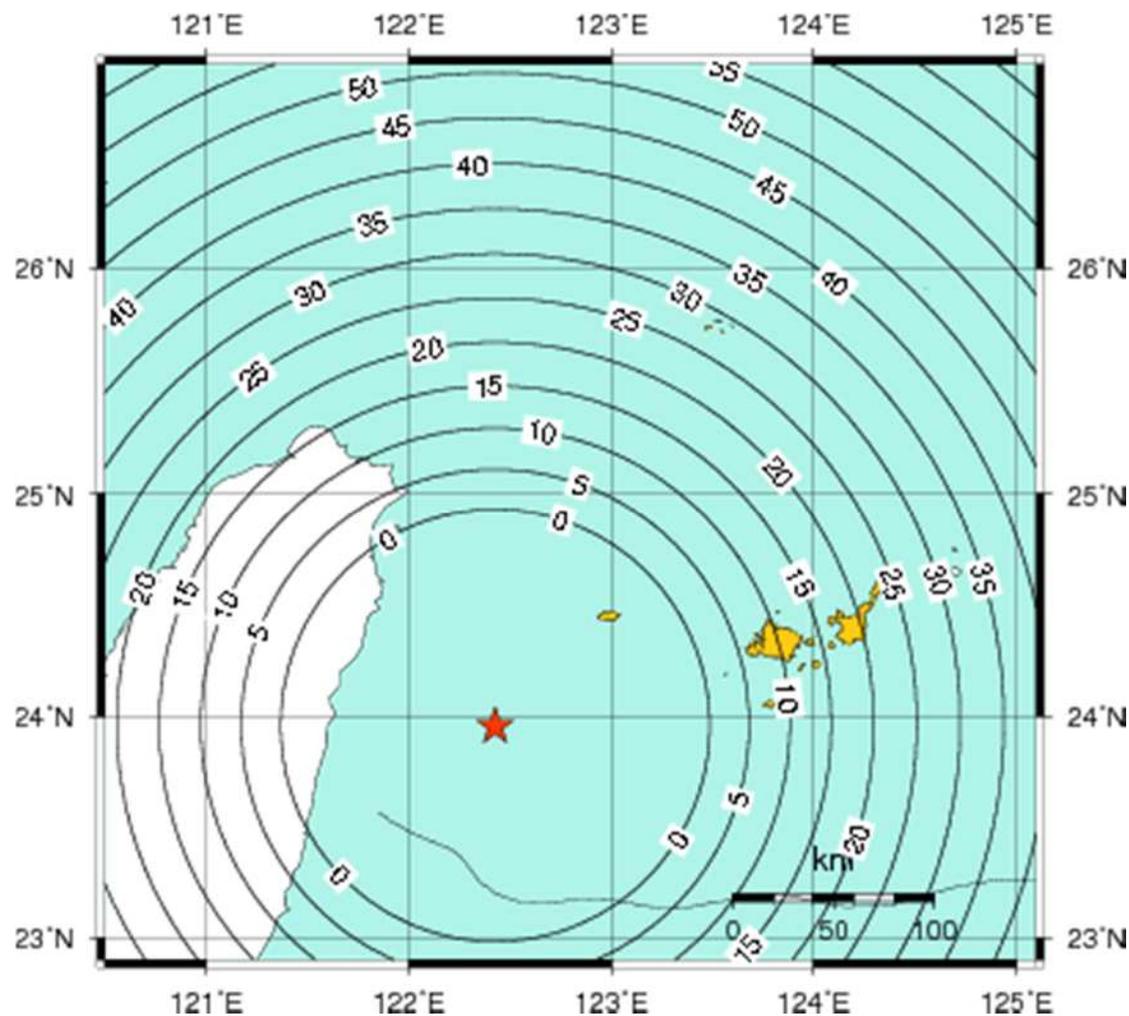
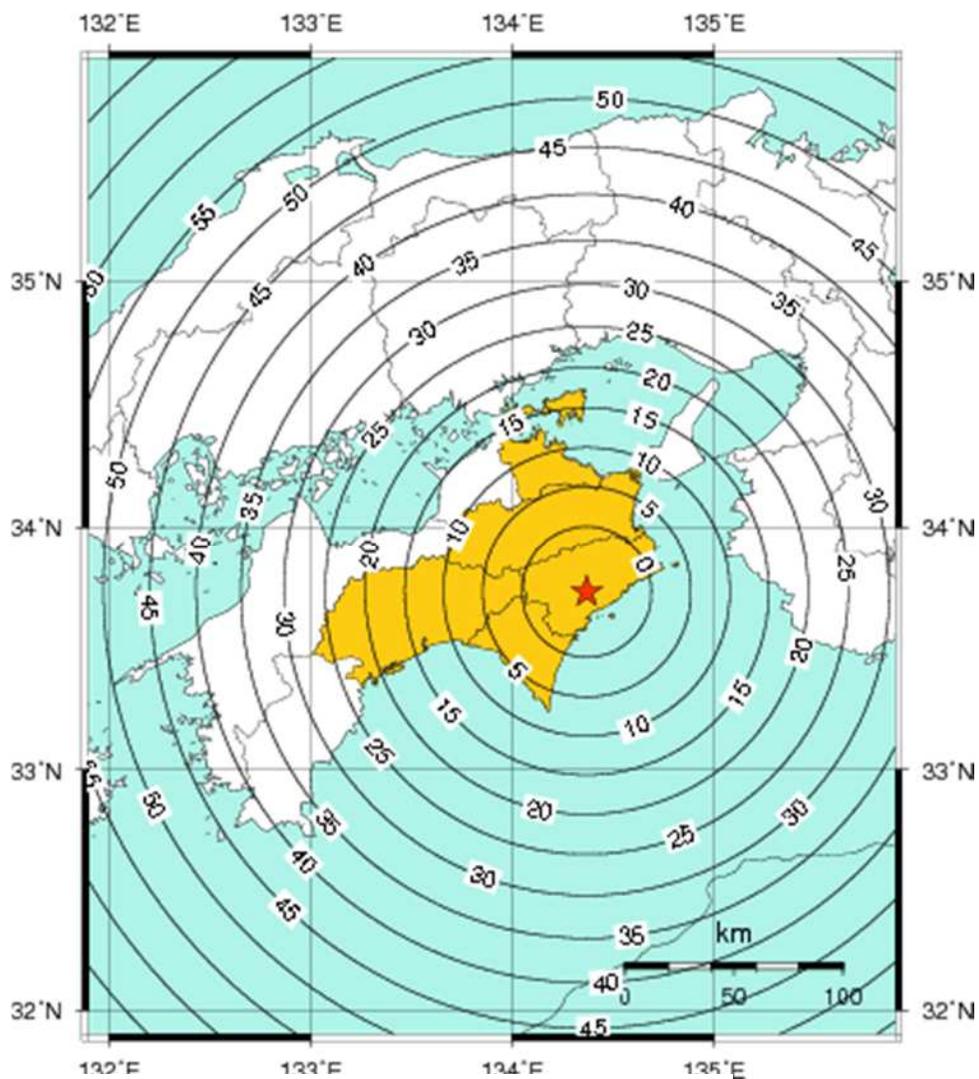
緊急地震速報（警報）を発表した地震 及び 震度5弱以上を観測した地震 （H27年1月～H28年2月）

発生日時	震央地名	M	観測 最大震度	警報 発表	備考
平成27年 2月 6日 10時25分	徳島県南部	5.1	5強		
平成27年 2月17日 13時46分	岩手県沖	5.7	5強		・最大予測震度4・観測震度（5強：1点、5弱1：点）
平成27年 4月20日 10時42分	与那国島近海	6.8	4		
平成27年 5月13日 6時12分	宮城県沖	6.8	5強		
平成27年 5月22日 22時28分	奄美大島近海	5.1	5弱		
平成27年 5月25日 14時28分	埼玉県北部	5.5	5弱		
平成27年 5月30日 20時23分	小笠原諸島西方沖	8.1	5強		・震度予測なし（深さ150kmより深い地震のため）
平成27年 6月 4日 4時34分	網走地方	5.0	5弱		・最大予測震度4・観測震度（5弱：1点、4：観測なし）
平成27年 7月10日 3時32分	岩手県内陸北部	5.7	5弱		・最大予測震度4・観測震度（5弱：1点）
平成27年 7月13日 2時52分	大分県南部	5.7	5強		
平成27年 9月12日 5時49分	東京湾	5.2	5弱		・最大予測震度4・観測震度（5弱：1点）
平成27年11月14日 5時51分	薩摩半島西方沖	7.1	4		
平成28年 1月11日 15時26分	青森県三八上北地方	4.6	5弱		・最大予測震度4・観測震度（5弱：1点）
平成28年 1月14日 12時25分	浦河沖	6.7	5弱		

緊急地震速報の発表状況（平成27年1月以降）

発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/2/6 10:25	徳島県南部	5.1	5強

発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/4/20 10:42	与那国島近海	6.8	4

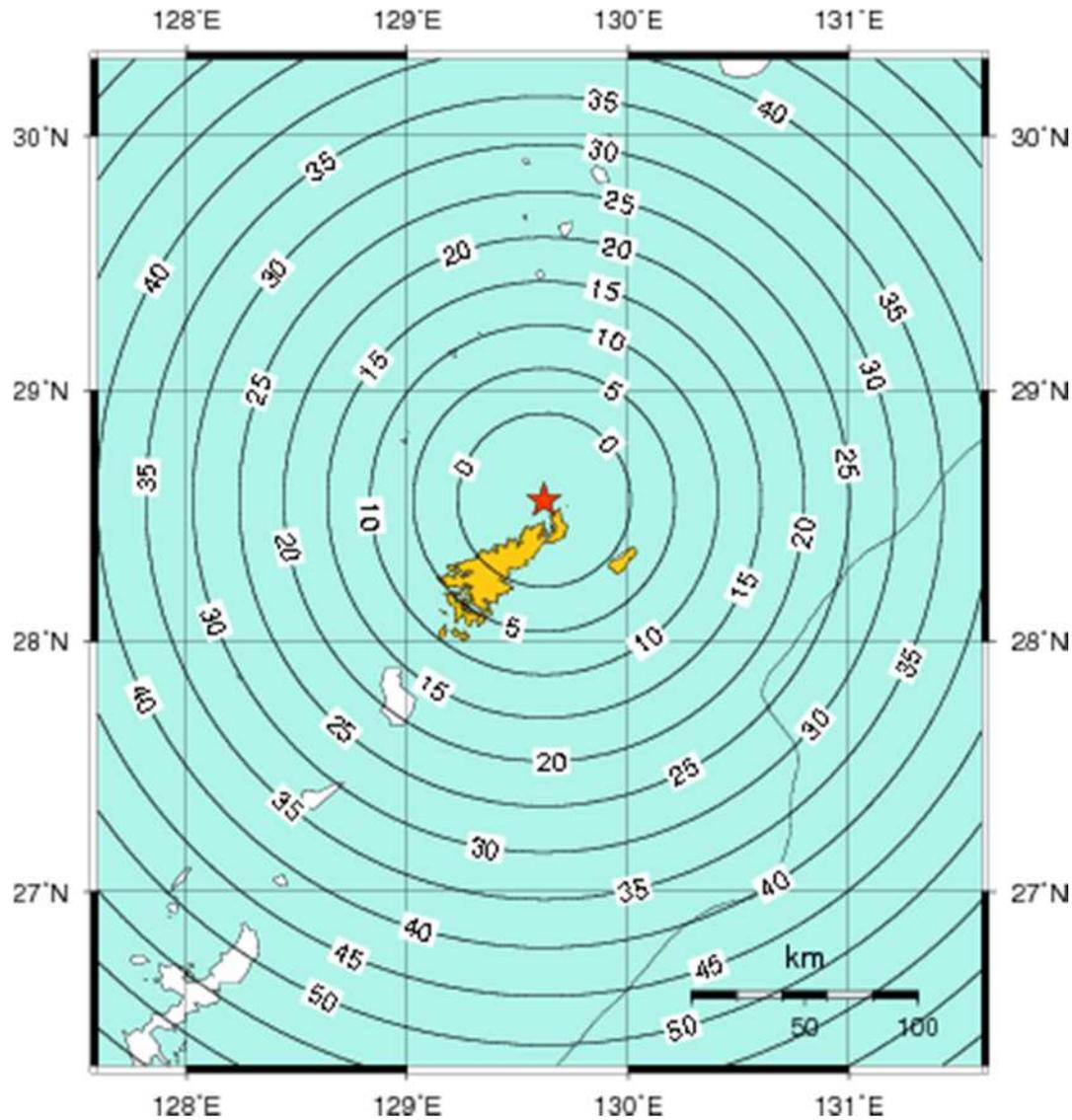
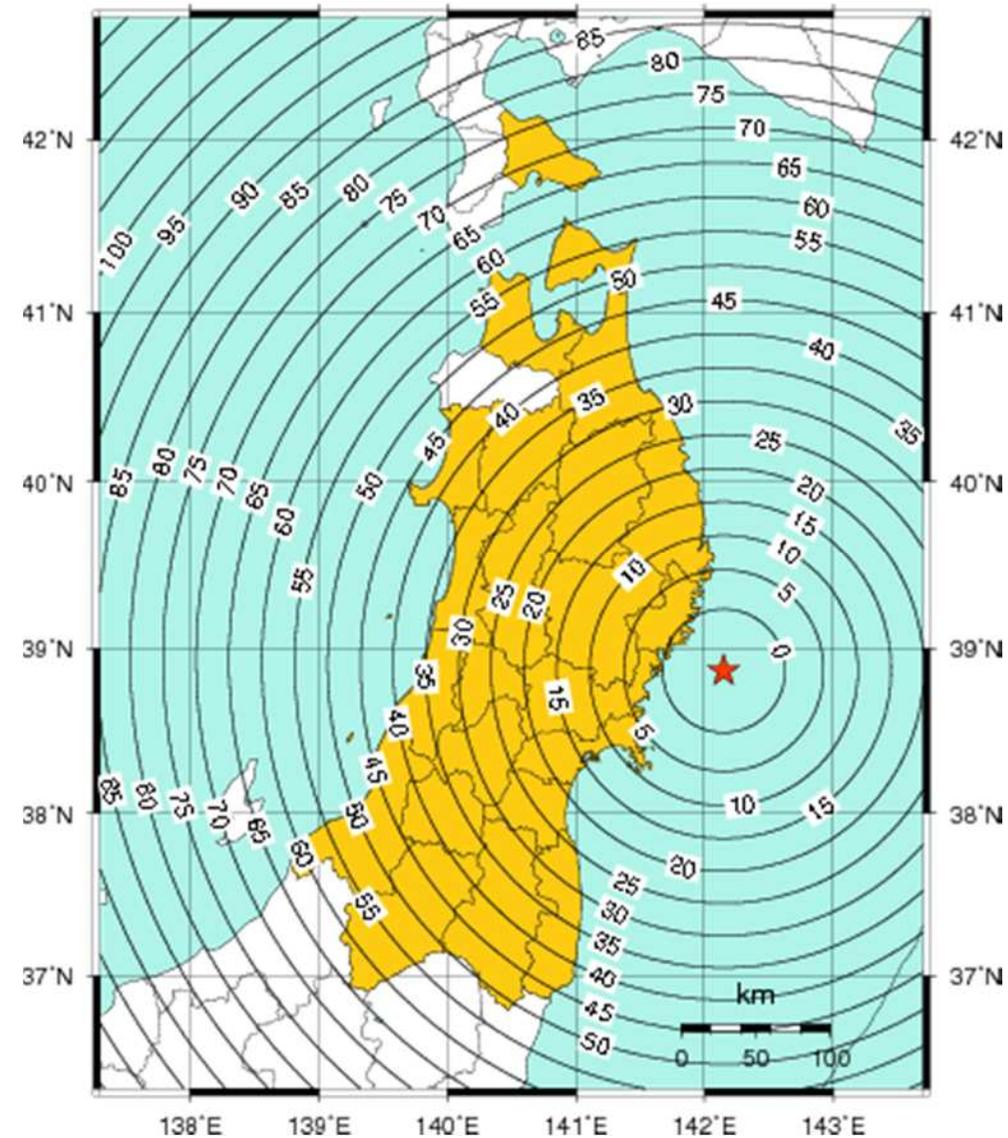


 緊急地震速報(警報)を発表した地域

緊急地震速報の発表状況（平成27年1月以降）

発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/5/13 6:12	宮城県沖	6.8	5強

発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/5/22 22:28	奄美大島近海	5.1	5弱

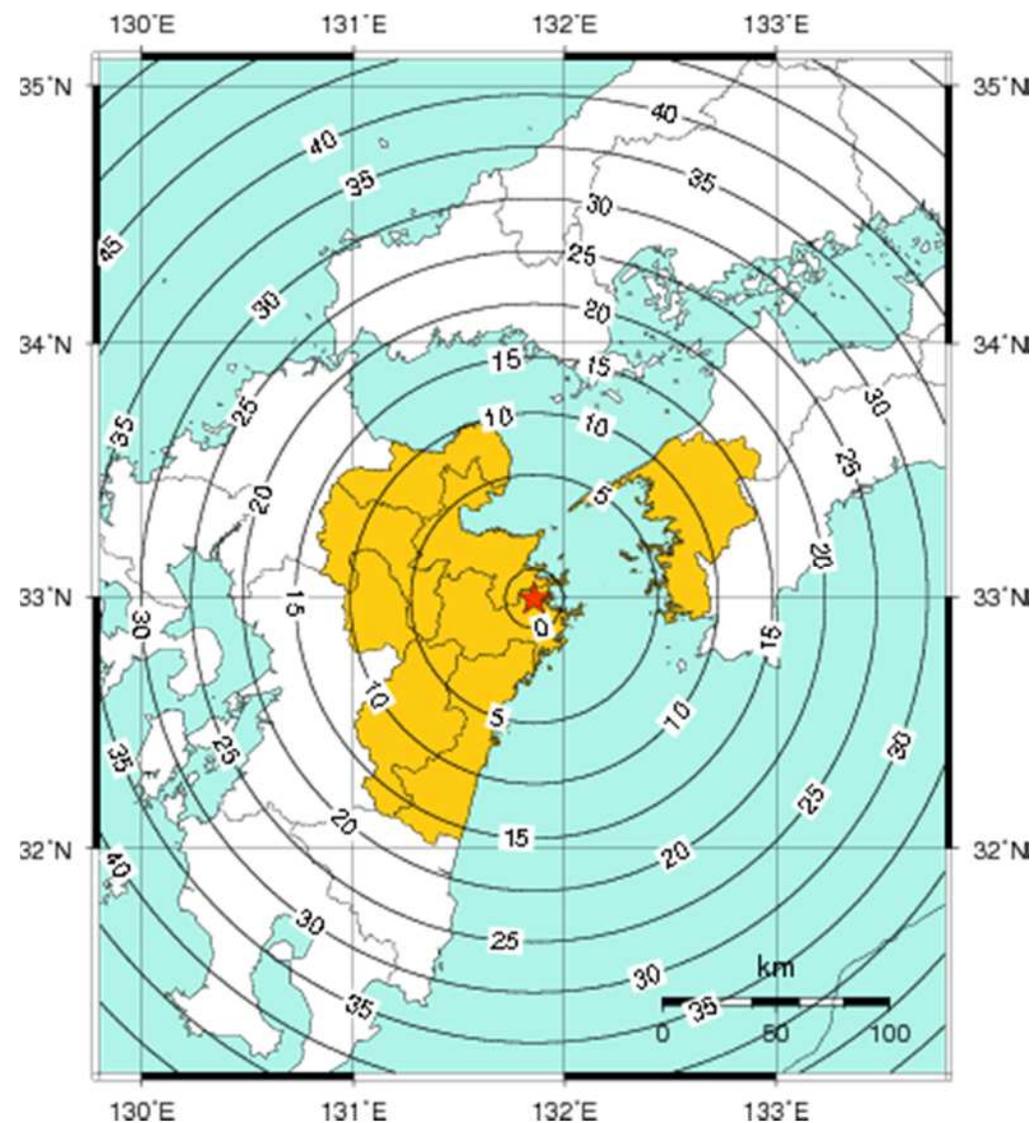
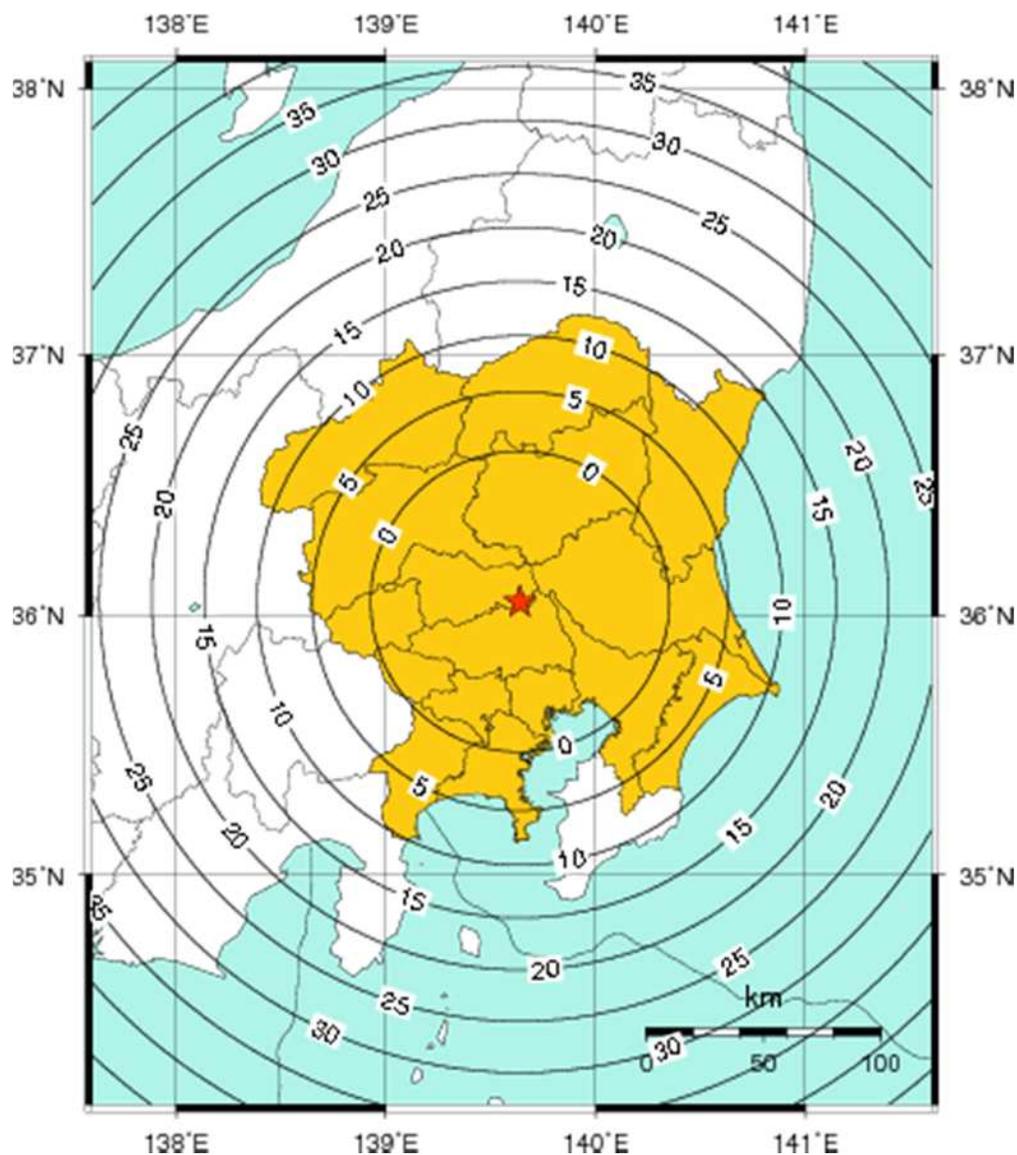


 緊急地震速報(警報)を発表した地域

緊急地震速報の発表状況（平成27年1月以降）

発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/5/25 14:28	埼玉県北部	5.5	5弱

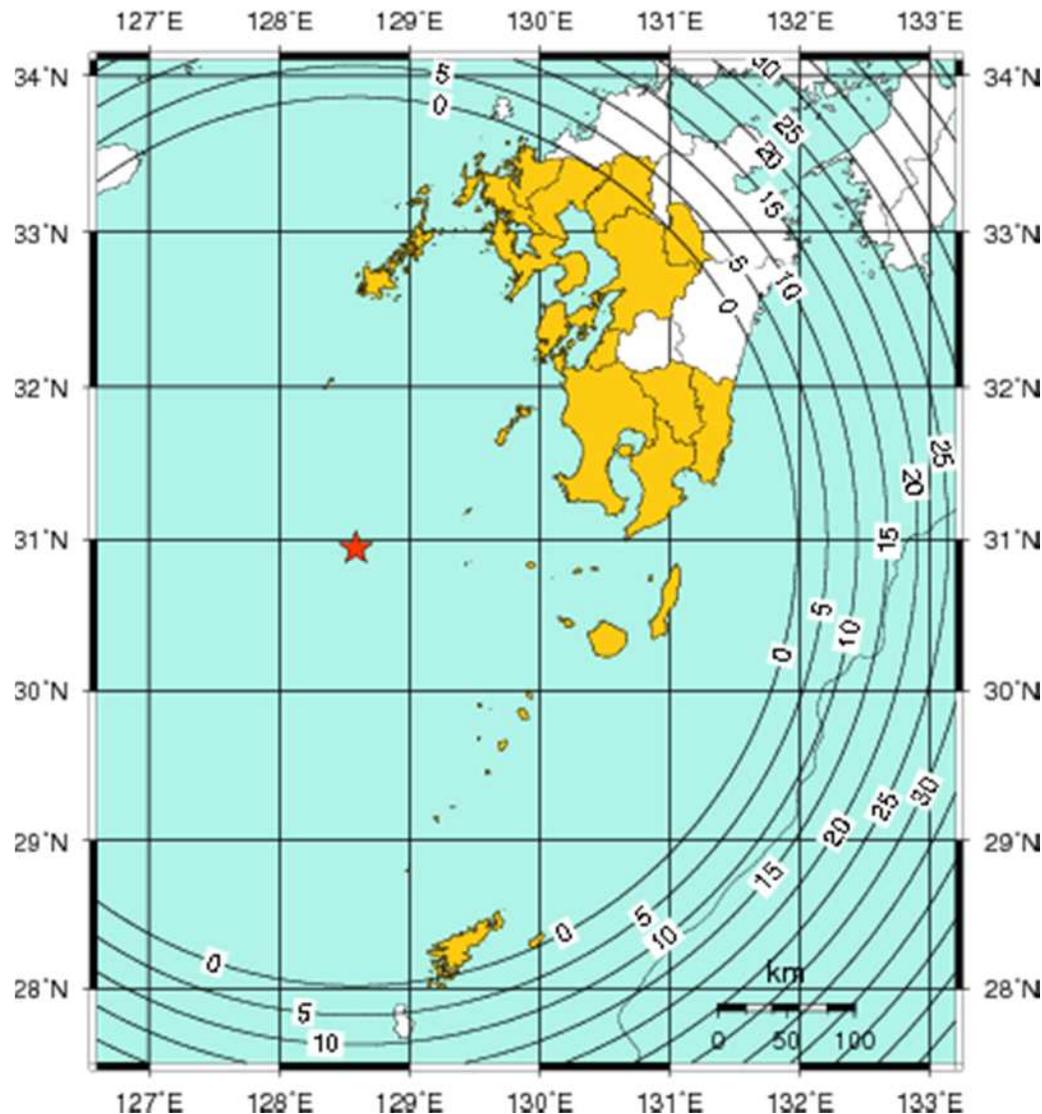
発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/7/13 2:52	大分県南部	5.7	5強



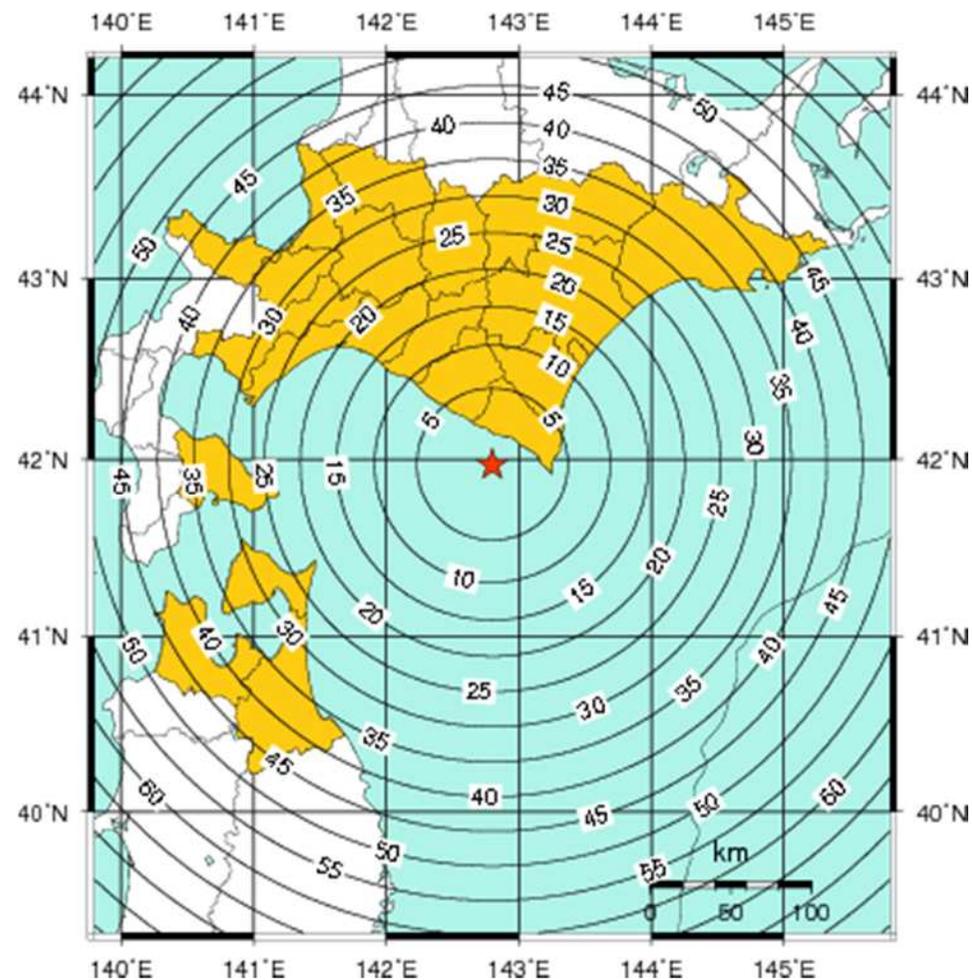
 緊急地震速報(警報)を発表した地域

緊急地震速報の発表状況（平成27年1月以降）

発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2015/11/14 5:51	薩摩半島西方沖	7.1	4



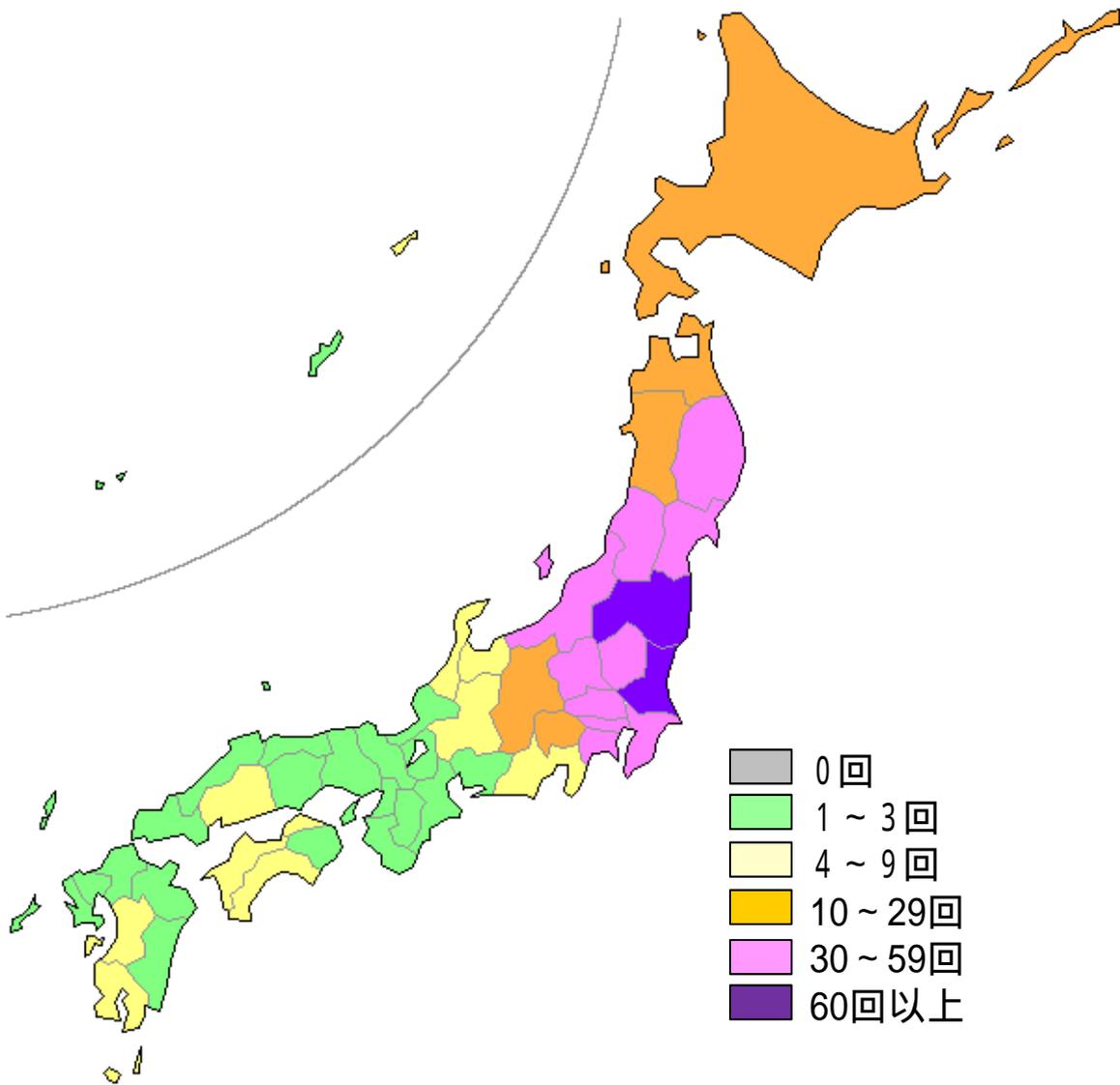
発生日時	震央地名	M	観測最大震度
2016/1/14 12:25	浦河沖	6.7	5弱



 緊急地震速報(警報)を発表した地域

緊急地震速報（警報）の都道府県別発表状況

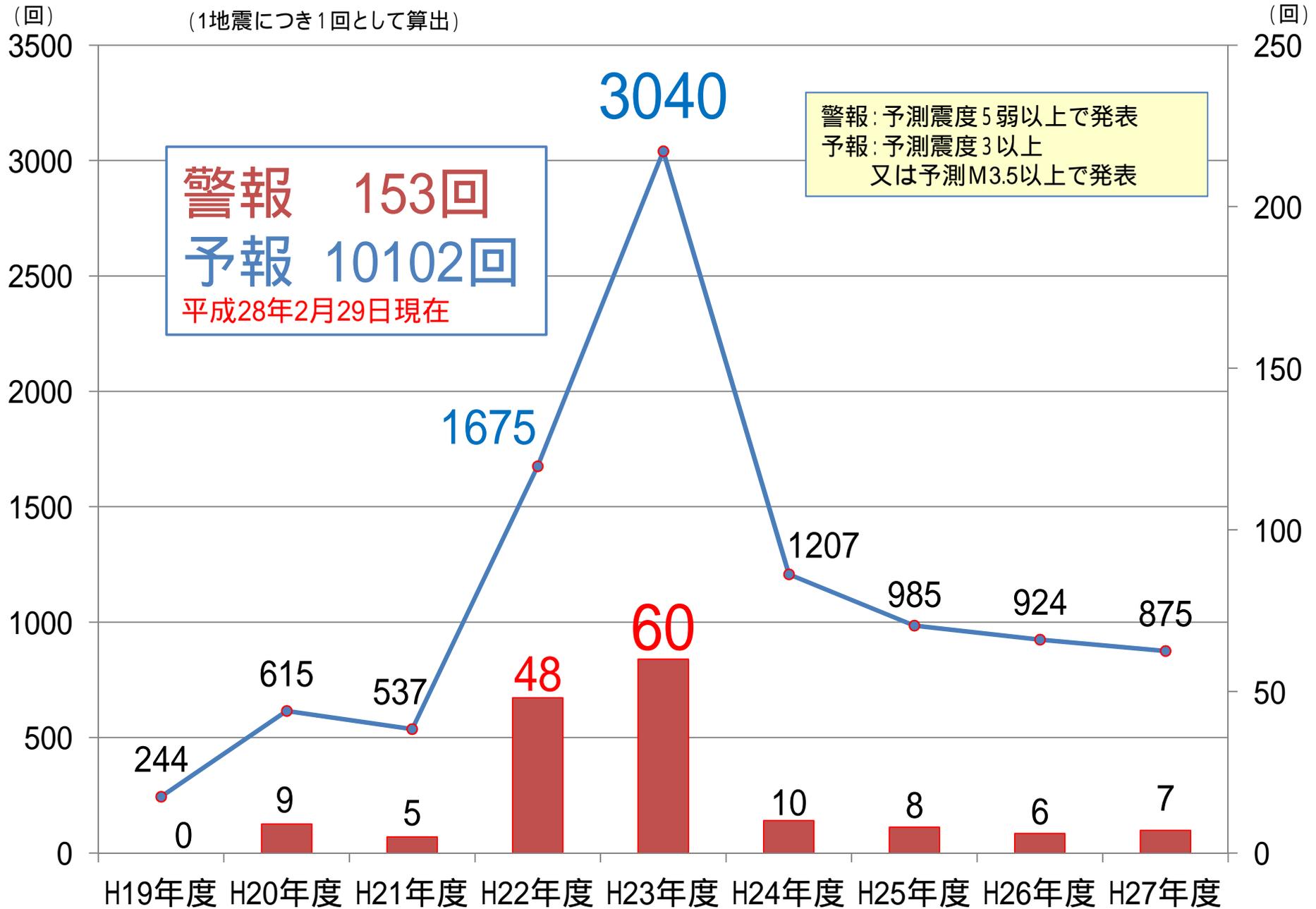
沖縄県	鹿児島県	宮崎県	大分県	熊本県	長崎県	佐賀県	福岡県	高知県	愛媛県	香川県	徳島県	山口県	広島県	岡山県	島根県	鳥取県	和歌山県	奈良県	兵庫県	大阪府	京都府	滋賀県	三重県	愛知県	静岡県	岐阜県	長野県	山梨県	福井県	石川県	富山県	新潟県	神奈川県	東京都	千葉県	埼玉県	群馬県	栃木県	茨城県	福島県	山形県	秋田県	宮城県	岩手県	青森県	北海道	
4	5	3	3	4	1	1	3	4	4	4	3	2	4	2	3	2	3	2	2	2	2	2	3	3	3	9	7	21	15	3	9	9	39	42	35	50	51	33	42	81	77	36	26	47	38	17	14



- ・平成19年10月～平成28年2月
- ・都道府県毎に集計(県内の1以上の地域で発表したらカウント)
- ・1地震につき1カウント(警報の続報が出てても1カウントのみ)

- ・福島県・茨城県を中心に、東日本では緊急地震速報(警報)の発表回数が多い
- ・西日本では緊急地震速報の発表回数多くても数回程度

緊急地震速報の発表状況(予報と警報)



緊急地震速報の精度評価

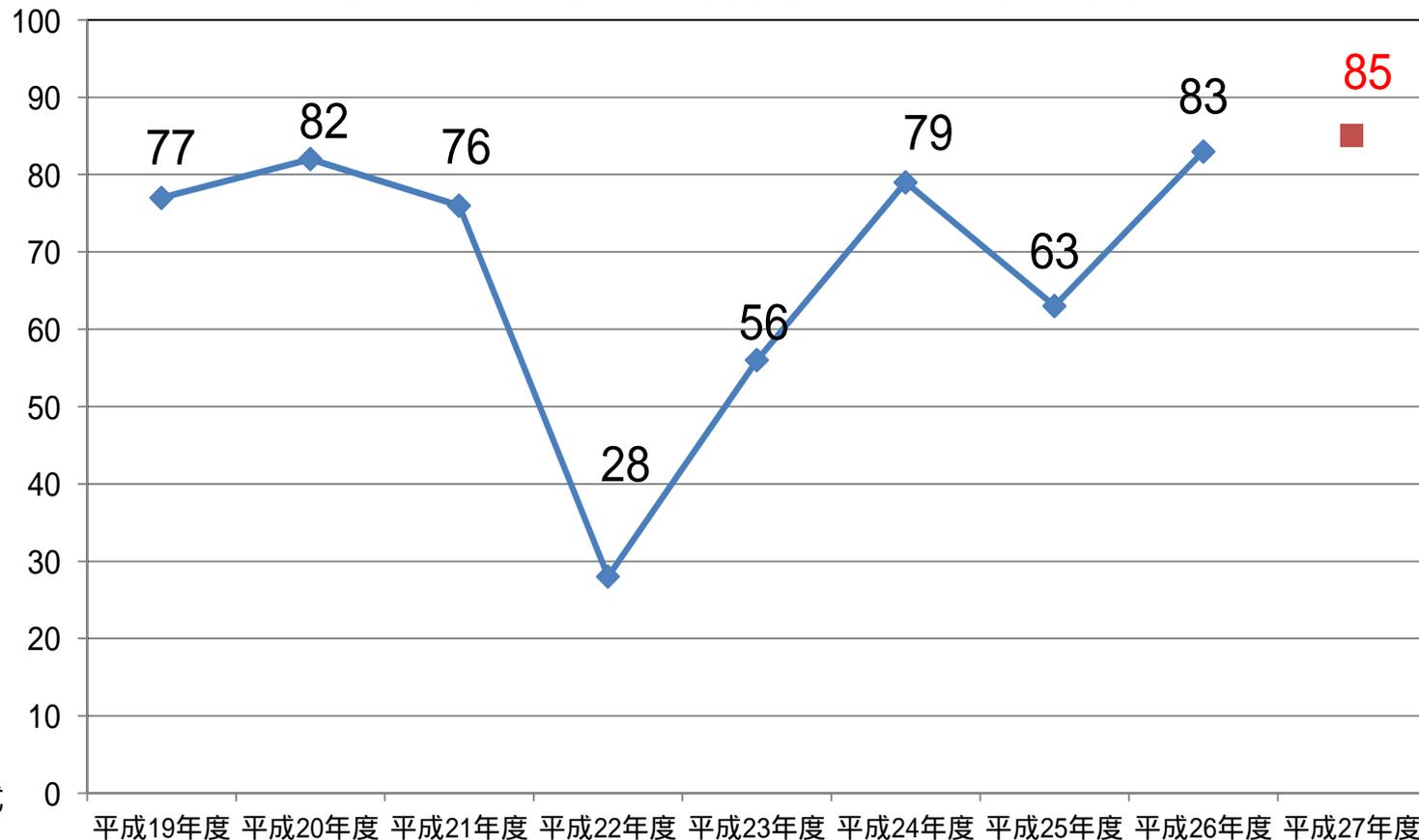
緊急地震速報の精度向上に関する業務評価として、「年度内における、震度4以上を観測した地震又は緊急地震速報で震度4以上を予想した地震について、予想誤差±1以下におさまる地域の割合」を、平成27年度までに85%以上とすることを目標に技術開発・改善等を進めている。

< 精度向上の取組み >

- 防災科学技術研究所の大深度地震計¹や、海洋研究開発機構のDONET²地震計及び新規整備した多機能型地震計の緊急地震速報への活用開始(平成27年3月)。

これにより、紀伊半島沖の海域や首都直下等の地震に対する精度向上と迅速化が期待できる。

- 現在、震源推定や震度予想に新たな手法(IPF法・PLUM法)を取り入れるべく、開発・検証を行っているところ。
地震津波の処理システム(EPOS)の運用開始。
開始以降、新たな手法の準備ができ次第、順次運用を開始して精度改善を図る予定。



- 1 : 国立研究開発法人防災科学技術研究所が設置した基盤強震観測網の内、南関東に概ね500m以上深く設置した地震計。
- 2 : 国立研究開発法人海洋研究開発機構が、熊野灘沖の海底に設置した、ケーブル式海底地震・津波観測監視システム。

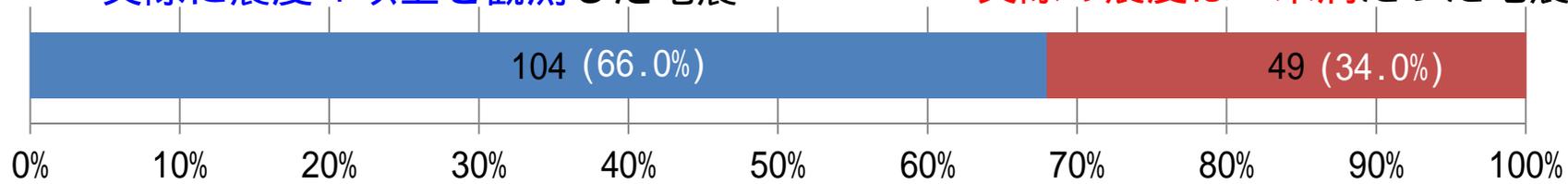
緊急地震速報(警報)の見逃し・空振り

対象期間：H19年10月1日09時～H28年2月29日

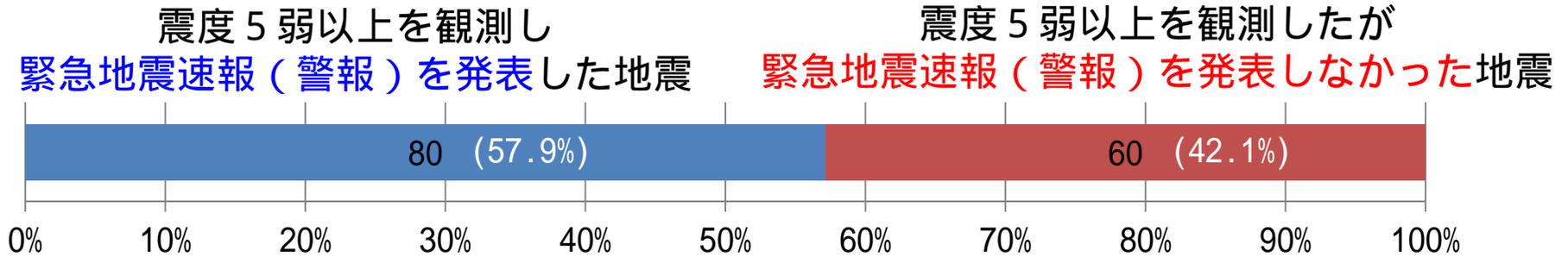
緊急地震速報(警報)を公表し
実際に震度4以上を観測した地震

緊急地震速報(警報)を公表したが
実際の震度は4未満だった地震

空振り

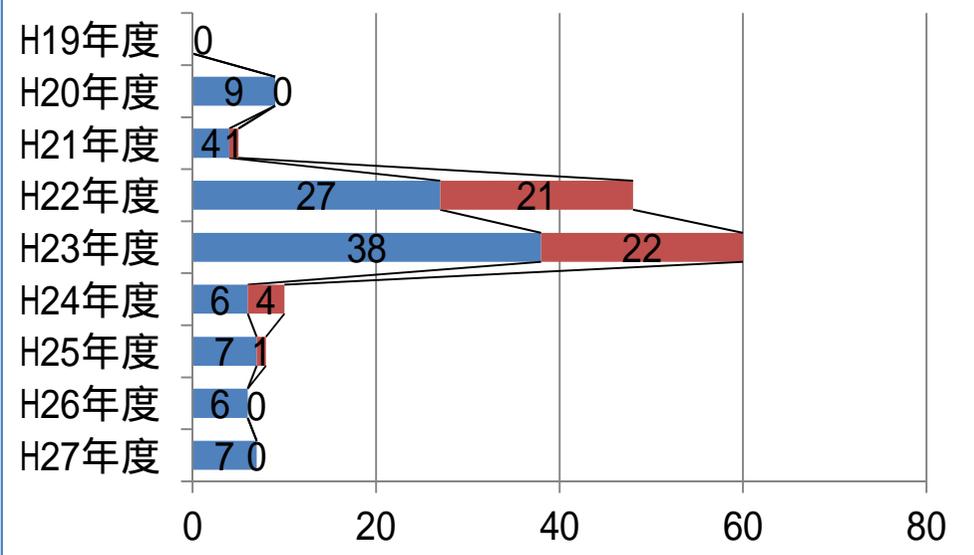


見逃し



年度別

空振り



見逃し

